

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年 2019 年はボルソナーロ政権が誕生した年であり、政権も国民も新しい事にチャレンジした年であったと思います。私も商工会議所の活動を通じ、ブラジル政府の担当者と話す機会が数多くありましたが、その効果が少しずついろいろな形で表れていることを実感してきました。

何度か、この場でも申し上げましたが、まずブラジル政府や政治家の人たちが変わってきています。より良いブラジルに向かって、競争力を上げて行くにはどうしたらよいのかを真剣に議論しています。

次に、市場環境も変化しています。ブラジルは今まで経験したことのない低金利、低インフレ時代を迎えて

います。AI やオープンイノベーション、スタートアップなど新しいビジネスが次々と生まれてきて、その結果、我々も既存ビジネスを大きく見直す時期にきています。

また、私たちブラジルでのビジネスにおいて米中の覇権争いがもたらす影響は、プラスの面、マイナスの面の両方を考えて進んでゆかなければなりません。その間に立たされる、ブラジル政府の舵取りも確りと確認してゆく必要があります。

その為、日本政府を含む我々日本勢(オールジャパン)も傍観している訳には参りません。変化してゆくブラジル政府と共に前に進んでゆく必要があります。日・メルコスール EPA については、タスクフォースを軸に、日本政府への働きかけを本年も継続します。

このような事を考えますと、2020年は大きなトラ

ンスフォーメーションの年になるのだと感じます。そして、我々の商工会議所の活動一つ一つがオールジャパンとして、会員の皆様に対してベネフィットをもたらす大切な取り組みになるものと確信しています。

今日は、各委員長からそれぞれ所信表明をしていただきますが、会員の皆様に置かれましても委員会活動や部会活動を通じ、会議所活動に是非とも積極的な参加をしていただけますようお願い申し上げます。会議所活動の参加はややもすると代表者だけの活動と誤解されがちですが、社員の方々全ての層で参加が可能です、ビジネスフロント、アドミニストレーション、財務・経理、HR、法務、総務の方など是非ともブラジル人の社員の方々への積極的な参加を呼び掛けていただきたいと思います。参加をすればするほどメリットが多い商工会議所活動だにご理解ください。

また、皆さんご存知の通り、今年から商工会議所はイ

ノベーション・中小企業委員会を新設して新しい取り組みにチャレンジします。日本の力（ノウハウや技術など）をブラジルに導入し、Win-Win で貢献してゆきたいと思います。

最後に、今年はトランスフォーメーションの年になると申し上げましたが、企業や商工会議所をはじめとする日系団体、また我々自身（個人）もトランスフォームする必要があります。その為には、まずリーダーがマインドセットをして、変革を受け入れる必要がありますし、その為には、若い世代の力を活用する必要があります。このように、2020年は、ブラジルも商工会議所も私たち日系社会も若い力で変革に取り組む年になったら良いと願っています。

皆様の2020年が素晴らしい年になることを祈願して私の新年の挨拶といたします。
ご清聴ありがとうございました。